



去る2月2日、芳井生涯学習センターで行われた第4回「まち&ひとづくりフェスタ」に参加してきました。

まちづくりフェスタに参加して

県の里まちづくり推進協議会

ゆいの里部会長 山本俊和



第38号

発行  
県の里まちづくり推進協議会  
県主地区自治連合協議会  
県主公民館  
県主地区社会福祉協議会  
県主地区防災会

この事業は、幼少期から郷土を愛するひとづくりとその成果をまちづくりへ活かしていくこうと始められたものです。

今回は、まちづくりの事例発表として、県主地区が選ばれ、「ふるさと便利屋さん事業」の取組みを私と岡田会長、山本副会長の3人で手分けして発表しました。

依頼を受けて現場での相談・見積、そして作業内容、完了までのことや課題などについて、画像を活用して丁寧に説明しました。なお、

事業開始当初から年々件数が増え、本年度は2月末で69件を済ませています。

ブース発表では、県主小学校の小田校長が「あがたウン子育て」や「未来プロジェクト」の取組み内容を説明され、参加者の注目を集めていました。その他のブース発表でも前回に比べて児童生徒が自主的・主体的に行動している姿が手に取るように見え、取り組みのレベルが上がっていると感じました。

私は、「誰かに創られる自分ではなく、自分で自分を創る」という考え方をもち、何事にも一生懸命取り組み、井原市立高校の仁城さんの言葉が一番印象に残っています。

参加者の皆さんもそれぞれ何らか得るものがあつたことと思います。

今後、児童生徒の地域を愛する想いを実現させていくためには、保護者はもちろんのこと、地域や学校の教師が連携して児童生徒の

取組みを支援していく必要があります。

「まちづくり」や「ひとづくり」を進める中で10年後、20年後の私たちの生活はどのように変わっているのでしょうか。

人口減少が進む中で経済的に成り立つ地域づくりをしていくには、将来を担う「ひとづくり」に加え、例えば、商工会議所の企業ブランディング委員会の取組み等も重要になってくると思います。

まちづくり推進協議会としては、今後とも地域課題解決に向けた取組みとともに将来を担う「ひとづくり」に傾注していきたいと思えます。



**災害ボランティアセンター  
設置運営研修参加**



地区防災会 藤井千秋

3月8日に井原市社会福祉協議会主催で『災害ボランティアセンター設置運営研修』がいはらサンサン交流館にて開催されました。

大規模な災害が発生すると、被災者支援のために各地から被災地に災害ボランティアが集まってきました。この時、災害ボランティアを受け、被災者のニーズ（困りごと）とボランティアの活動とを調整して、紹介、現場への送迎などを行うために、被災地に設置されるのが『災害ボランティアセンター』です。



午前中は鳥取県から派遣された講師により、災害ボランティアの活動について学び、午後は参加者の中で役割分担をしながら、災害ボランティアセンターの運営手順等について訓練を行いました。

講師から今までに避難所で経験されたエピソードを聞き、被災者の様々なニーズと、様々なボランティア活動があることを知り、またボランティアセンターの運営手順については、被災者の気持ちを考えて行うことや、ニーズの背景を理解してもらうことが重要だということが理解できました。集まって来るボランティアは、困っている人の役に立ちたいと思っている人ばかりでなく、職場で半ば動員的に参加される方々もおられるようです。そういう

方々との間に立ち、効率良く運営していく難しさも理解できました。

阪神淡路大震災から30年、東日本大震災から14年経ちましたが、被災地の避難所内のトラブルや被災者の苦情などは、昔も今も何ら変わらないうです。今回研修した活動は、到底一日の研修・訓練で養えるものにはありません。今後とも機会を設けて訓練を実施して、いざという時により良く対応できるよう、備えるべきことを痛感しました。



**おめでとう  
満百歳  
ございます**

12月2日に、門田町の原田璋（てる）さんが、満百歳の誕生日を迎えられました。県主地区社会福祉協議会から、会長が訪問し、ささやかながら祝金を手渡ししてお祝いしました。

お祝いの会に東京からも息子さんたちが駆けつけ、話しかける子どもたちの顔を見てうれしそうにしておられました。璋さんは、若い時から働き者で、縫製工場へ勤めながらも、朝早くから田畑の世話をし、いろいろな作物を育てるのを楽しみに過ごしてこられました。庭にも鉢植えの花やサボテンがたくさん育っていたそうです。璋さん、いつまでもお元気で過ごしてください。





2月1日(土)、西方町  
 大迫にある「みんなの居場  
 所」『こもれびの杜』で、  
 県主地区社会福祉協議会理  
 事研修会を行いました。「今  
 を生きる私たちの役割と今  
 出来ること」と題して、一  
 般社団法人 m i m o z a  
 (ミモザ) 代表の橋本恭子  
 氏にご講演をいただき、活



社協会長 佐藤和子

動の場を見学させていただ  
 きました。

ミモザは、不登校児童生  
 徒、障がいをもっている人、  
 生活に困っている人などを  
 支援するため、地域の農業  
 や様々な事業と繋がりを  
 もって社会参画の場をつく  
 り、共に活動しながら自立  
 を見守っていかうとしてい  
 る団体です。

実際にはなかなかうまく  
 いかない例が多い中、出会  
 いとそのタイミングがマッ  
 チして、子育て困難家庭か  
 ら子どもを分離し、トイレ  
 で用を足すことからの生活  
 支援、学校への送迎等を  
 チームで行い、高校へ向け  
 て頑張るようになった生徒  
 の例がありました。その生  
 徒が農業体験などの活動の  
 場で周りの人と一緒に活動

し、認められるという成功  
 体験を積み重ねたことは、  
 大きな生きる力になったと  
 思います。

また、生きる希望を失っ  
 ていた人が、この生徒の支  
 援に関わったり共に活動し  
 たりすることで、自分の居  
 場所を見つけ、今ではミモ  
 ザでの活動を暮らしの支え  
 にしているという例もあり  
 ました。

こもれびの杜には、開拓  
 した畑に玉ねぎの苗が育っ  
 ていました。収穫出来たら  
 焼き肉のたれを作るそう  
 です。更に西側では、竹林を  
 整備して果樹を植えたり、  
 竹で入浴剤を作ったりして  
 販売しようなどと夢は際限  
 なく広がっています。

「みんなでもっともつとぎ  
 わつこうよ」と、やって来  
 た人がみんなと一緒に楽し  
 しく頑張れるという**社会参  
 画の場**を次々と開拓してい  
 る橋本氏でした。

講演の後で、ピザ作り体  
 験をさせていただき、焼き  
 立てのピザを頬張りながら



参加者やミモザのスタッ  
 フのおしゃべりが楽しい時  
 間となりました。  
 毎週月曜日はクッキング  
 広場、火曜日はトライ広場。  
 悩み相談日などもあります。  
 一緒に活動しながらおしゃ  
 べりしませんか。畑仕事は  
 よいフレイル予防にもなり  
 ますよ。…と、しんどい作  
 業も笑い飛ばす明るい話し  
 ぶりでした。



12/16~24 「あがた未来プロジェクト」イルミネーション



1/13 とんど集会

県主のわだい



1/3 新年互例会



2/11 かかし広場 花植え



1/23 門田楽寿会 料理教室



ふるさとががしロード構想

県の里まちづくり推進協議会 岡田 忍

平成25年から、県主地区内に立っている「ふるさとががし」たち！井原市南部地域に人々を呼び込んで、交流人口を増加させ県主を知ってもらい、地域を元気にしたいとの思いで「ふるさとががし」構想を思い立ち、活動してきました。これまで、このルートとも言える徳島県祖谷のかかしや、姫路市奥播磨のふるさとががしの里を大江町まちづくりの方々と訪ね、作



り方を教わり、コツコツと作って参りました。そして今は、かかしロード構想の沿線である大江町の「嫁いらす観音院」木之子町の「メタセコイヤのクリスマスツリー」木之子中学校、荏原公民館など少しずつ飾ってもらいその輪は広がってきました。今年、高屋町のひな祭りウオークの会場に参加し、その後、きのこ荘にも飾り利用者さんに笑顔を届ける



ことができました。地区内でも幼稚園、小学校の入園、入学式にもかかしが参加しています。地区内で頑張っている約20体のかかしは衣装の着替えや立ち姿を直すなど日常のメンテナンスが必要です。今年、県主小学校の児童の皆さんが着替えを手伝ってくれ大変助かりました。又、多くの人々にかかしづくりに関わってもらおう



と「かかしコンテスト」を開催していましたが、昨年で12回を終えました。コンテスト期間中は県内外からたくさんの人々が来られ、知名度向上に繋がっています。県主といえればかかしがある所？と聞かれると嬉しくなります。



TOMO食in県主を開催して



社協理事 佐藤聖子

2月24日に、TOMO食in県主が、地区社協、公民館、ホッとカフェ主催で開催されました。県主地区内外から103人の参加者があり、お陰様で盛大な会となりました。

内容は、「車家化狐。さんによる落語会」と「ホッとカフェメンバーの手作り食事会」でした。

「落語会」では、化狐さんが、「転失気(てんしき)」「やかんなめ」「花筏(はないかだ)」の三つの演目で落語を披露してくださいました。生で聞くことのない面白い落語に、会場は、大きな笑い感動に包まれました。笑いは、認知症予防になると言われています。皆さん、きっと若返られたことでしょう。

「食事会」では、ホッとカフェメンバーによる手作り料理をいただきました。カレー、サラダ、卵焼き、冷奴、漬物と、盛りだくさんで、栄養バランスも考えられたメニューでした。美味しかったので、ほとんどの人が完食でした。和やかな雰囲気、ゆつくりと食事とおしゃべりを楽しんでもいただきました。

《感想から》

▼落語も料理も良かった。楽しかった。来てよかった。

▼一人で参加した。食事は、知らない人との相席だったが、話もでき、知り合いになれた。仕事の関係で、地域の活動に参加できていなかったけど、これからは、どんどん参加したいと思う。

▼孫と参加した。落語が分かるかなと思っていたが、横を見ると、笑っていたので、面白かったんだと思う。食事も定食並で豪華でした。

▼ホッとカフェ、地区社協、公民館の皆さんが、一致協力できた意義のあるイベントだったと思う。

この会のねらいは、「楽しく交流を図り、つながろう！」でしたが、概ね達成できた、喜んでいきます。参加してくださいました皆さん、本当にありがとうございました。また、この会の

ために、地域の方々から、容器、米、卵、野菜等、多くの品物も提供いただきました。ご協力いただきました皆様方に、心より感謝申し上げます。



行事予定のお知らせ

町民体育祭…5月25日(日)  
納涼盆踊り大会

8月13日(水)  
防災訓練…10月26日(日)

ハウス祭り…11月9日(日)  
県主公民館G・G大会

11月23日(日)

# 鳥羽踊り「こども伝承教室」

鳥羽踊り「こども伝承教室」は、3月9日の閉講式を行い令和6年度の行事を無事終えることができました。

活動の内容は、6月の開講式から月2回の練習、鳥羽陵御霊供養、納涼盆踊り、ハウス祭りでの発表、研修旅行、3月の閉講式での発表会など、それぞれの行事に受講生は真剣に取り組ましました。



鳥羽踊り保存会 森下和美

研修旅行は、神戸「須磨シーワールド」に受講生と保護者・指導者が参加、豪華なシャチやイルカのパフォーマンスに歓声を上げ、



「水の一生」をテーマにした水族館を見学するなど楽しい一日を過ごし親睦も深めることができました。

「こども伝承教室」は令和7年度も引き続き行いますので多くの参加をお待ちしています。  
問合せ先：県主公民館

# 大谷山三十三観音 遍路清掃作業

社協理事 森本峰子

3月8日、大谷山三十三観音遍路の清掃作業が行われました。

門田上の六和会の方々に社協理事等が加わり総勢16名で、六道様からゴルフ場までの南コース、東大谷、西大谷の3班に分かれ、草を刈ったり倒れた木や竹を取り除いたりしながら整備していきました。今年は例年に比べ落葉がとても多かったです。

観音巡りと同じくらい時間をかけて整備し一週間後に参加する皆さんが無事に巡ることができるとほっとしましたが、16日当日は前日からの雨で中止になりました。せっかく準備ができたのに残念でした。整備してくださった皆様ありがとうございました。



# 耕作放棄地対策

県の里まちづくり推進協議会

みのりの里部会長 蔵本哲治



県の里まちづくり推進協議会では、耕作放棄地の解消と、地元特産品の開発を目的に、芋焼酎「里の夢」に続き、昨年4年ぶりにそばを植えました。

昨年9月4日に種まきをし、11月29日に刈取り、その後天日干しにて乾燥させ、



製粉しました。昨年は、高温で雨が少なく生育が心配されましたが、思いのほか順調に生育し、前回同様にもまずの量のそば粉を得ることが出来ました。

そばは、種蒔きすれば勝手に実を付けるイメージでしたが、実際には水やりや雑草との戦いで、苦戦しました。何事もそうですが、苦労もありますが、本気でやっているから面白く、そして誰かが助けてくれる。まさにその通りで、その結果に感動するこ



ととなりました。

今後、出来たそば粉は、まちづくりの皆さんとそば打ちをし、味見をしたいと思います。



県の里まちづくり推進協議会

県の里まちづくり推進協議会のページで「みんなの県主」が閲覧できます。【ホームページ】<http://www.agatanosato.jp>

## 県主地区の人口・世帯数

### 地区全体

- 世帯数：523世帯
- （門田町：302世帯）
- （西方町：221世帯）
- 人口：1,134人
- （門田町：665人）
- （西方町：469人）
- 男 性：526人
- （門田町：320人）
- （西方町：206人）
- 女 性：608人
- （門田町：345人）
- （西方町：263人）
- 65歳以上：478人
- （門田町：295人）
- （西方町：183人）
- 高齢化率：42.1%
- （門田町：44.3%）
- （西方町：39.0%）

令和7年2月末現在

ご寄付ありがとうございました

県主地区社会福祉協議会へ

北田輝喜様（亡父・8部）

岡田浩之様（亡父・1部）

門田楽寿会へ

藤井千秋様（亡父・3部）

森本正義様（亡母・2部）

紙面をもってお礼にかえさせていただきます。